I-O DATA

Visor 用 Springboard
8MB メモリ搭載 CF アダプタ
VRCF-8A シリーズ
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

98028-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Visor、Springboard は、handspring,Inc の商標または登録商標です。
- Blue Nomad、Blue Nomad のロゴおよび BackupBuddyVFS は、Blue Nomad,LLC の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、「VRCF-8A シリーズ」（以下、本製品と記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

目次

安全にお使いいただくために …… ii
使用上のご注意 …… v

1 使い方
特長 …… 1
箱の中身は …… 2
対応している機種とコンパクトフラッシュ …… 2
取り付け方法 …… 3
取り外し方法 …… 6

2 取り付け後の設定
VFSManager のインストール …… 7
VFSManager のアンインストール …… 9
VFS 設定の操作方法 …… 10

3 ソフトウェアの操作方法
FileMover（ファイルムーバー）で本製品を使うとき …… 13
AutoRUN（オートラン）で本製品を使うとき …… 18
BackupBuddyVFS（バックアップバディ VFS）で本製品を使うとき …… 20
PowerRUN（パワーラン）で本製品を使うとき …… 24
J-DOC Reader で本製品を使うとき …… 28

4 故障かなと思う前に
トラブルQ＆A＜目次＞ …… 33
トラブルQ＆A …… 35

5 付録
ハードウェア仕様 …… 43
用語解説 …… 44
アフターサービス …… 45

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


発火注意

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切ってください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け、取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本製品を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

⚠注意


禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CL_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない


注意

本製品は一般オフィスや家庭の OA 機器用途の製品として設計されていますので、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

使用上のご注意

●本製品へ登録されたデータが消失、破損した事による被害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本製品のデータの回復作業はお受けしておりませんので、大切なデータは、他のメディアに定期的にバックアップを行ってください。

●本製品は通常はそのままでお使いいただけますので、フォーマット（初期化）を行う必要はありません。

●本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

1 使い方

特長

●8MB フラッシュメモリ内蔵し、コンパクトフラッシュスロット装備

8MB フラッシュメモリを内蔵していますので、Visor の本体メモリが増え、より快適に Visor をお使いいただけます。さらにコンパクトフラッシュを増設することにより大幅にメモリを増やせます。

●Visor で VFSManager に対応したソフトウェアを使用可能

本製品添付の「PowerRUN」、「BackupBuddyVFS」をはじめとした VFSManager 対応アプリケーション※を Visor 上で実行可能にすることで、より多くのアプリケーションを使用可能になります。

※当社製 VFSManager に対応する必要があります。

●信頼性の高いアプリケーションを添付

・Visor 本体のメモリ、本製品の 8MB フラッシュメモリ、コンパクトフラッシュ内のファイル管理を行う「FileMover」を添付

・アプリケーションを自動で実行できる「AutoRUN」を添付

・古くからバックアップソフトを提供している Blue Nomad 社の「BackupBuddyVFS」を添付

・J-OS※の開発者である山田達司氏が開発した、コンパクトフラッシュからアプリケーションを実行できる「PowerRUN」および TEXT 文書を Visor で表示できる「J-DOC Reader」を添付

※英語版 Palm OS 搭載機で日本語を使用可能にするソフトウェアです。

箱の中身は

箱を開けたら以下の内容物が入っているか、チェック欄に✔を付けて梱包品のチェックを行ってください。

チェック	内容物	個数
	本体 	1個
✔	取扱説明書（本書）	1冊
	ユーザー登録カード※	1枚
	ハードウェアシリアル No. シール	1枚
	ハードウェア保証書	1枚

※ユーザー登録についてはユーザー登録カードをご覧ください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

対応している機種とコンパクトフラッシュ

本製品を使用できる機種および推奨コンパクトフラッシュは以下の通りです。ご使用の機種やコンパクトフラッシュを再度ご確認ください。

対応機種	Handspring 社製　Visor Delux, Visor Platinum Visor Prism, Visor Edge ※Visor シリーズ 日本語版および Visor シリーズ 英語版 + J-OS*で使用できます。 ＊(英語版で日本語表示を可能にするソフトウェア)
推奨 コンパクトフラッシュ	弊社製 PCCF-H シリーズ, PCCF シリーズ SANDISK 製コンパクトフラッシュ 4～256MB



Windows XP および Windows 2000 でフォーマットしたコンパクトフラッシュは使用しないでください。
対応コンパクトフラッシュの最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

取り付け方法

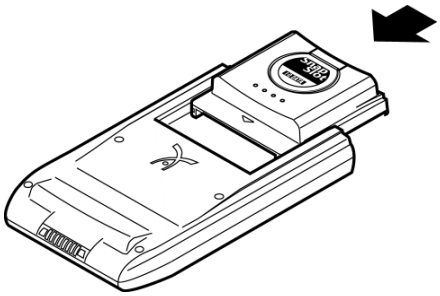
ここでは本製品を Visor に取り付ける方法を説明します。
Visor の電源が入っている状態で、本製品を取り付けても問題ありません。
以下の手順で本製品を取り付けてください。

8MB フラッシュのみ使用する場合

Visor Delux、Viosr Platinum、Visor Prism の場合

1 Visor の裏面のカバーを取り外します。

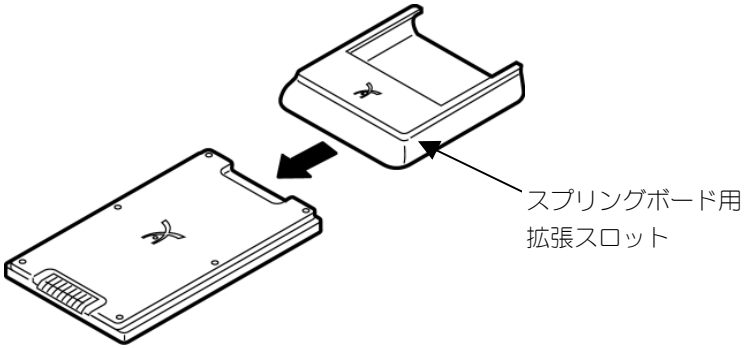
2 本製品を Visor のスロットに挿し込みます。
→ 確認音が鳴ります。



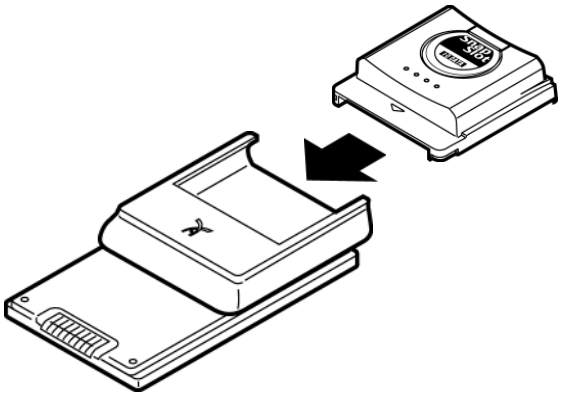
取り付けが終わったら、正しく取り付けられたかどうかを確認します。
【取り付け後の設定】（7 ページ）へお進みください。

Visor Edge の場合

1 本体にスプリングボード用拡張スロットを装着します。



2 本製品を Visor 本体のスロットに挿し込みます。
→ 確認音が鳴ります。

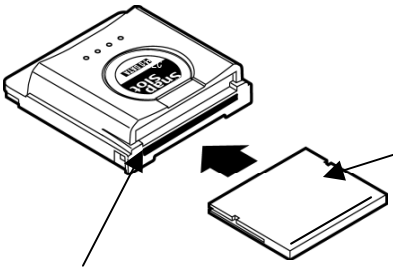


取り付けが終わったら、正しく取り付けられたかどうかを確認します。
【取り付け後の設定】（7 ページ）へお進みください。

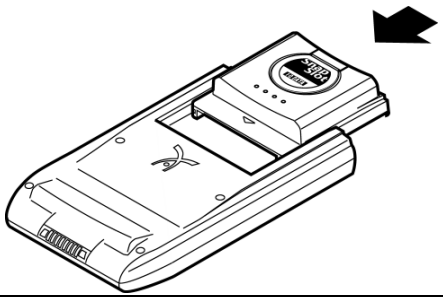
8MB フラッシュとコンパクトフラッシュを使用する場合

本製品にコンパクトフラッシュを挿し込んで、Visor 本体に取り付けます。

1 本製品のコンパクトフラッシュスロットにコンパクトフラッシュを挿し込みます。



2 コンパクトフラッシュを差し込んだ本製品を Visor 本体のスロットに挿し込みます。
→ 確認音が鳴ります。



注意

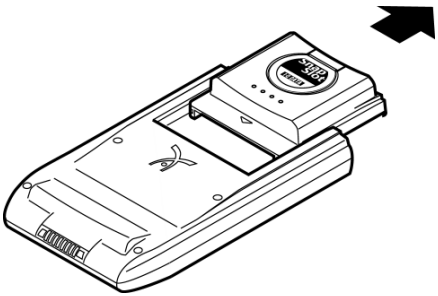
コンパクトフラッシュを使用する場合、**本製品にコンパクトフラッシュを挿し込んでから、Visorに装着してください。**本製品をVisorに装着してからコンパクトフラッシュを挿し込んだ場合は、認識するための操作が必要です。（12 ページ【コンパクトフラッシュを手動でマウントする場合】を参照）

取り付けが終わったら、正しく取り付けられたかどうかを確認します。
【取り付け後の設定】（7 ページ）へお進みください。

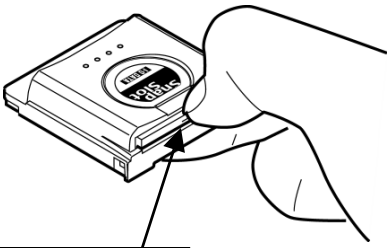
取り外し方法

本製品を取り外すときは、Visor の電源が入っている状態でも切れている状態でも問題ありません。

1 Visor のスロットから本製品を取り外します。



2 コンパクトフラッシュは下図のようにコンパクトフラッシュに爪をかけて引き出します。



2 取り付け後の設定

本製品を初めて Visor に装着したときに VFSManager と PowerRUN のインストールを行います。VFSManager は、外部メモリを管理し、PowerRUN は、外部メモリ上でアプリケーションを起動することができます。
VFSManager と PowerRUN をインストールすることにより、コンパクトフラッシュ上でアプリケーションを起動することができます。

VFSManager のインストール

1 **本製品を装着すると、下記のような確認画面が出るので[はい]ボタンをタップします。**

VFSManager がインストールされます。[いいえ]ボタンをタップするとインストールは行われません。

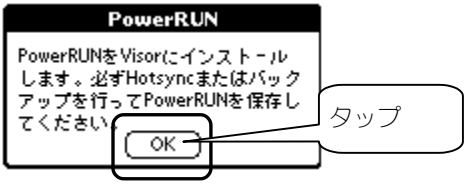


注意

上記画面が表示されない場合は 35 ページ【取り付け時のトラブル】を参照してください。

2 次に PowerRUN のインストールを行います。
下図のような確認画面が出ますので[OK]ボタンをタップします。

Visor 本体に PowerRUN がインストールされます。
インストールされた PowerRUN は有効になっていないので PowerRUN は別途有効にする必要があります。有効にする方法は PowerRUN の項目を参照してください。



注意

PowerRUN のインストールは一度だけしか行うことができません。
インストール後は必ず、BackupBuddyVFS によるバックアップか、Hotsync による PC へのバックアップを行ってください。万が一バックアップできなかったときは http://simple-palm.com/から最新版を入手して Hotsync にてインストールしてください。

3 インストールが終わると下図のような確認画面が出るので[リセット]ボタンをタップします。

VFSManager の設定に関しては VFS 設定の項目を参照してください。



VFSManager のアンインストール

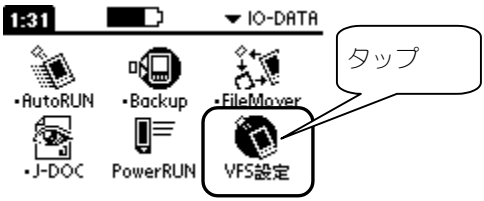
VFS 設定で VFSManager の無効化作業をした後、ホーム画面のメニューから[アプリケーション-削除]を実行して以下のファイルを削除してください。
※VFSManager の無効化は 11 ページの【VFSManager を無効にする場合】を参照

・CFAtaLib
・VFSDBLib
・VFSFormatLib
・VFSMgr
・VFS 設定

VFS 設定の操作方法

VFS 設定の起動

本製品の VFSManager の有効、無効およびコンパクトフラッシュのマウント、アンマウントを操作するためのアプリケーションです。
ホームランチャー上から VFS 設定をタップして起動します。

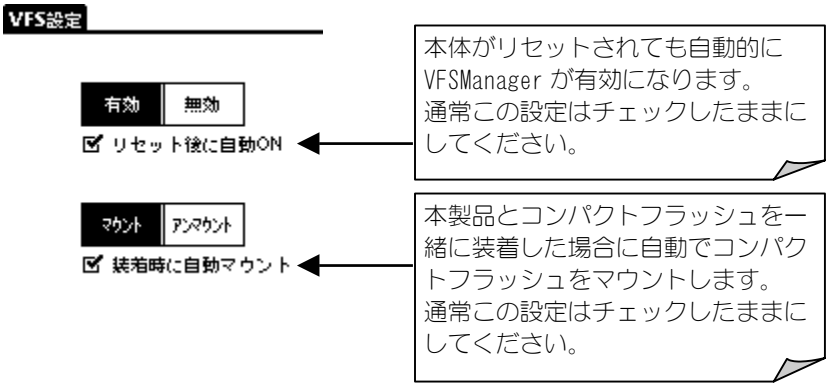


VFS 設定の使い方

本製品を装着すると以下のような設定になっています。

・リセット後に自動 ON　→　「チェック済み」
・装着後に自動マウント　→　「チェック済み」

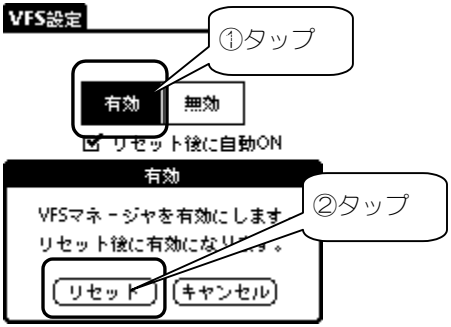
通常はこの設定から変える必要はありません。



以下の操作は通常行う必要はありません。

●VFSManager を有効にする場合

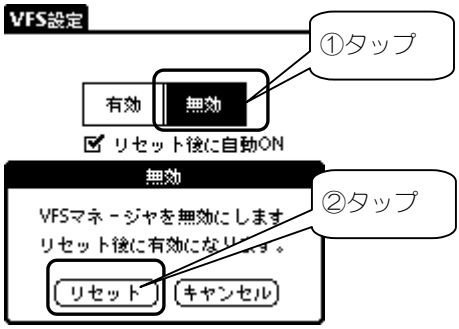
1 [有効]ボタンをタップし、[リセット]ボタンをタップします。



2 本体がリセットされて VFSManager が有効になります。

●VFSManager を無効にする場合

1 [無効]ボタンをタップし、[リセット]ボタンをタップします。



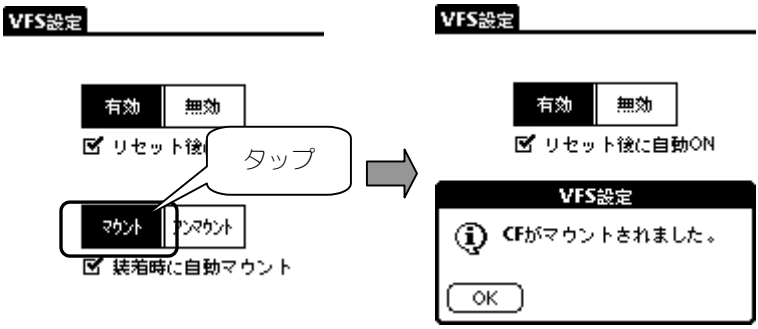
2 本体がリセットされて、自動的に VFSManager が無効になります。

●コンパクトフラッシュを手動でマウントする場合

VFSManager 有効時にコンパクトフラッシュを手動で認識させます。
この作業はコンパクトフラッシュのみを後で装着する場合に必要です。
本製品とコンパクトフラッシュを一緒に装着する場合、この作業は必要ありません。

1 [マウント]ボタンをタップします。

”プピプピ”と音がなり、メッセージが表示されます。

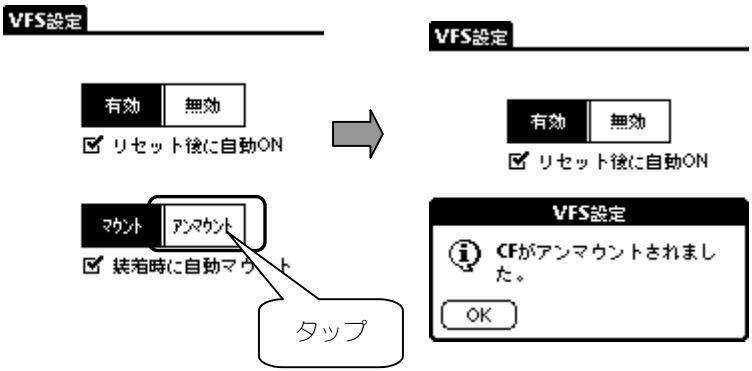


●コンパクトフラッシュを手動でアンマウントする場合

VFSManager 有効時にコンパクトフラッシュを手動で未使用状態にできます。
この作業はコンパクトフラッシュのみ取り外す場合に必要です。
本製品とコンパクトフラッシュを接続したまま取り外す場合、この作業は必要ありません。

1 [アンマウント]ボタンをタップします。

”プピプピ”と音がなり、メッセージが表示されます。



3 ソフトウェアの操作方法

ここでは以下のソフトウェアで本製品を使うときの操作を説明します。

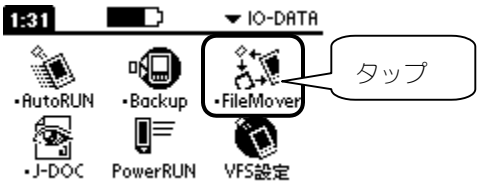
・FileMover ---------- 以下
・AutoRUN ---------- 18 ページ
・BackupBuddyVFS ---------- 20 ページ
・PowerRUN ---------- 24 ページ
・J-DOC Reader ---------- 28 ページ

FileMover（ファイルムーバー）で本製品を使うとき

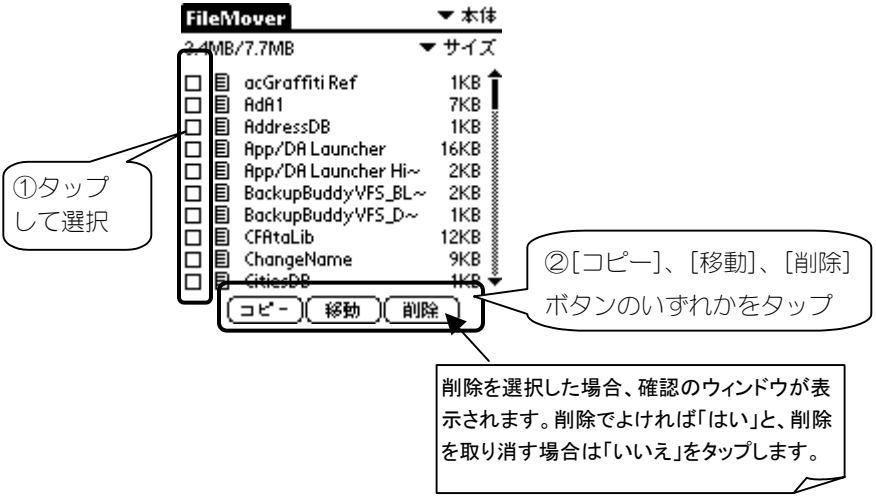
FileMover（ファイルムーバー）とは？
本体メモリ、本製品の 8MB フラッシュメモリ、コンパクトフラッシュ内のファイルを相互に移動、コピー、削除する事が出来るアプリケーションです。
以下に操作手順を説明します。

1 FileMover(ファイルムーバー)を起動します。

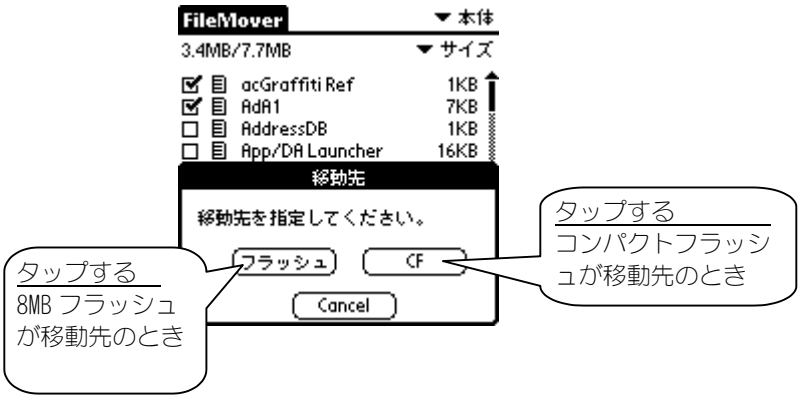
本製品を Visor に装着するとホーム画面に[FileMover]が表示されます。ホーム画面上の[FileMover]のアイコンをタップします。



2 移動したいアプリケーションを一覧から選択します。選択後、下に表示されている[コピー]、[移動]、[削除]ボタンのうち行いたい操作のボタンをタップします。



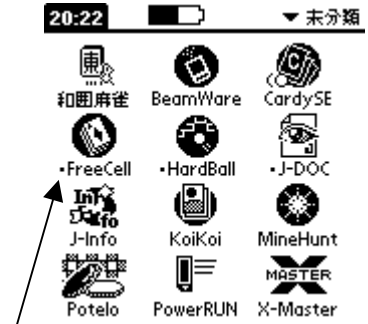
3 [移動]ボタン、または[コピー]ボタンを選択した場合、移動先ウィンドウが表示されます。移動先のボタンをタップします。



4 8MB フラッシュメモリ上のアプリケーションを起動

ホーム画面上で希望するアプリケーションのアイコン※をタップします。

※FileMover で 8MB フラッシュメモリに移動されたアプリケーションは、「･」がついて表示されます。



注意

8MB フラッシュメモリ上で正常動作しないソフトウェアについて

- アプリケーション実行時にファイル自体を書き換えるアプリケーションやデータベースは、FileMover によって 8MB フラッシュメモリに移動させても正常に動作しない場合があります。
- PowerRUN のショートカットはフラッシュメモリに移動できません。

メニュー

FileMover のメニューの説明を行います。

編集/ツール





編集

メニュー	説明
すべての選択	すべてのファイルを選択します。
選択解除	選択されているすべてのファイルの選択を解除します。
移動	選択されたファイルを移動します。
コピー	選択されたファイルをコピーします。
削除	選択されたファイルを削除します。

ツール

メニュー	説明
フォーマット	コンパクトフラッシュをフォーマットします。
ディレクトリ作成	ディレクトリを作成します。
ディレクトリのリネーム	ディレクトリの名称を変更します。

その他



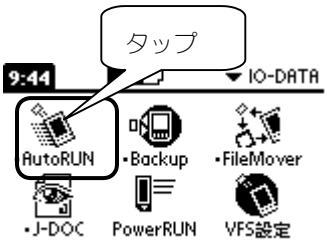
メニュー	説明
FileMover について	FileMover について説明します。

AutoRUN（オートラン）で本製品を使うとき

AutoRUN とは?

AutoRUN は、本製品が Visor に装着された際に、コンパクトフラッシュ毎にあらかじめ指定しておいたアプリケーションを自動で起動するアプリケーションです。
以下に操作手順を説明します。

1 任意のコンパクトフラッシュが装着された状態で、ホーム画面から AutoRUN のアイコンをタップします。



2 自動で起動させたいアプリケーションを画面中央のプルダウンから選択します。

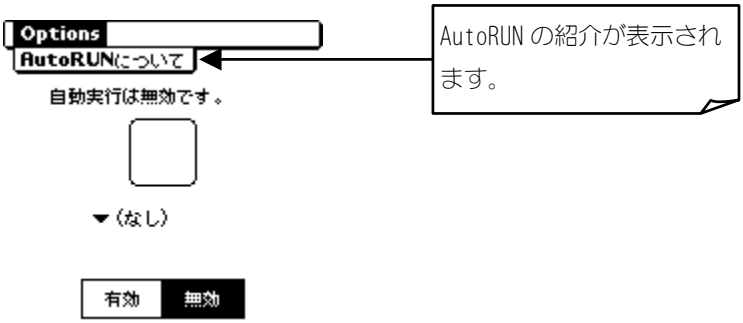
この時選択できるのは本体メモリまたは本製品の 8MB フラッシュメモリ内のアプリケーションのみです。



3 選択されているアプリケーション名の下にあるボタンを押すことで設定を切り替えることができます。

現在の状況は選択されているアプリケーションアイコンの上に表示されています。

メニュー

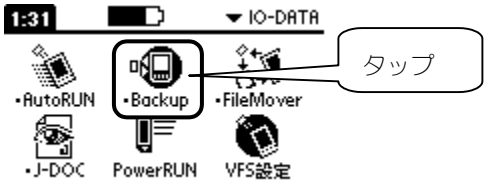


BackupBuddyVFS（バックアップバディ VFS）で本製品を使うとき

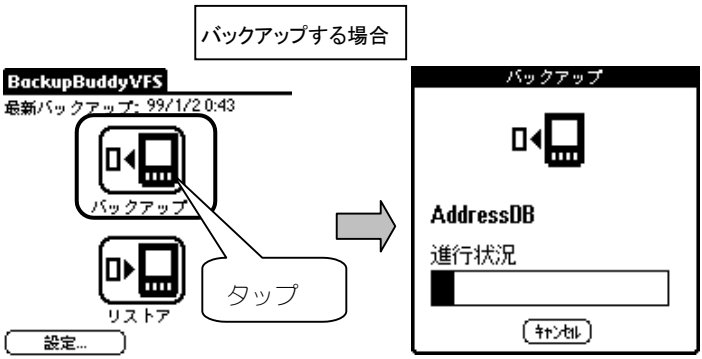
BackupBuddyVFS とは

BackupBuddyVFS は、本体メモリ内のファイルをコンパクトフラッシュ上にバックアップしたり、コンパクトフラッシュから本体メモリにファイルを復元させたりすることができるアプリケーションです。
以下に操作手順を説明します。

1 ホーム画面上の Backup のアイコンをタップします。



2 本体メモリの内容をバックアップする場合は[バックアップ]ボタンをタップします。
フラッシュメモリの内容を本体メモリにリストアする場合は、[リストア]ボタンをタップします。



基本モードメニュー

オプション



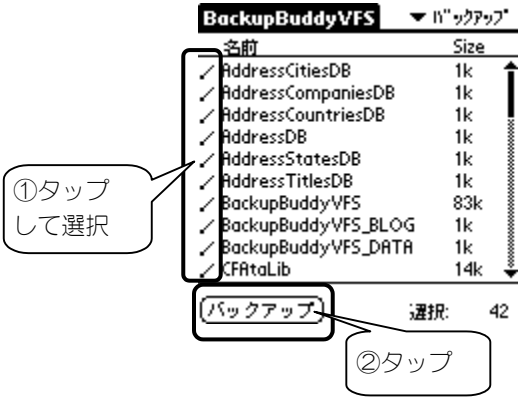
メニュー	説明
バックアップ	本体メモリのすべてのファイルを対象としたバックアップを行います。
リストア	コンパクトフラッシュにバックアップされたファイルを本体メモリ上に復元します。
バックアップの削除	コンパクトフラッシュに保存されているバックアップファイルを削除します。
ログ	ログ表示します。
設定	電源オフ時や毎日定刻にバックアップを行うなどの設定ができます。
拡張モード	拡張モードにモードを変更します。
レジスト	既にレジスト済みです。
バージョン	本ソフトウェアの紹介（バージョン情報）です。

拡張モード

拡張モードはファイルを一つずつ選択してバックアップ、復元が出来るモードです。選択したいファイルをタップする事でファイルにチェックマークが付き選択されます。

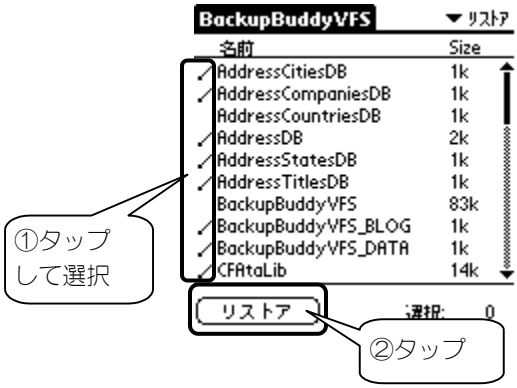
拡張モードでのバックアップ

バックアップしたいファイルをチェックし、画面下の[バックアップ]ボタンをタップします。



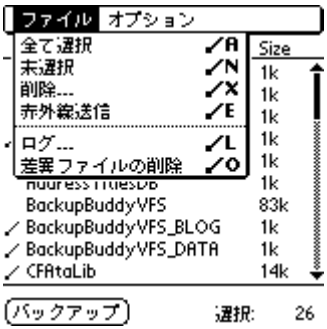
拡張モードでのリストア

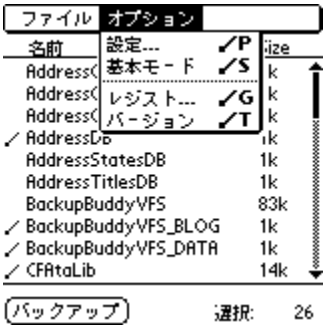
リストアしたいファイルをチェックし、画面下の[リストア]ボタンをタップします。



拡張モードメニュー

拡張モードのメニューの説明を行います。





ファイル

メニュー	説明
全て選択	全てのファイルを選択します。
未選択	全てのファイルが選択されていない状態にします。
削除. . .	選択されているファイルを削除します。
赤外線送信	選択されているファイルを赤外線送信します。
ログ	ログ表示します。
差異ファイルの削除	本体から削除されたファイルが存在する場合、バックアップ側の該当するファイルを削除します。

オプション

メニュー	説明
設定	電源オフ時や毎日定刻にバックアップを行うなどの設定ができます。
基本モード	基本モードにモード変更します。
レジスト	既にレジスト済みです。
バージョン	本ソフトウェアの紹介（バージョン情報）です。

PowerRUN（パワーラン）で本製品を使うとき

PowerRUN とは

PowerRUN は、コンパクトフラッシュ上にあるアプリケーションを通常のアプリケーションと同じ感覚で起動できるアプリケーションです。



- PowerRUN は、Hacker Dude-san 山田達司氏が開発したアプリケーションです。PowerRUN の不具合情報、バージョンアップ情報は「Hacker Dude-san's page」（http://simple-palm.com）でもご確認いただけます。
- PoweRUN で作成したアプリケーションのショートカットはフラッシュメモリに移動させないでください。正常に動作いたしません。
- 弊社では PowerRUN の動作保証は行っておりません。お客様の責任でご使用ください。

PowerRUN の特徴

・アプリケーションの移動操作が簡単
・アプリケーションだけではなく、付随するデータもコンパクトフラッシュに移動可能
・読み込み専用のデータだけでなく、変更が加わるデータも移動可能
・複数のコンパクトフラッシュ上にあるアプリケーションを全てランチャー上で表示することが可能。アプリケーション起動時には PowerRUN がカードの入れ替えを指示
・アプリケーションのアイコンにコンパクトフラッシュ上にあることを示すマークを表示

以下に PowerRUN の操作方法を説明します。

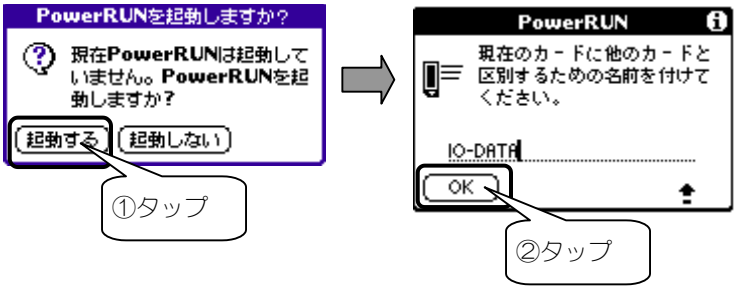
1 本製品（コンパクトフラッシュを挿したもの）を Visor 本体に装着します。

2 移動したいアプリケーションを Visor 本体にインストールします。

既に移動したいアプリケーションがコンパクトフラッシュ上にある場合は FileMover を使用して本体メモリに移動してください。

3 ホーム画面から PowerRUN を起動します。

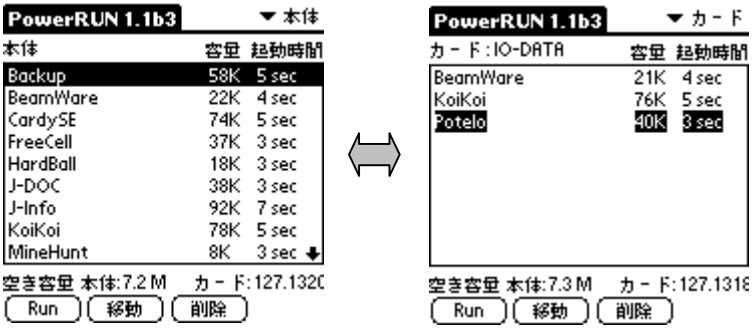
初回起動時は下記のように PowerRUN の起動確認とコンパクトフラッシュに名前を付ける画面がでます。名前を入力し[OK]ボタンをタップします。



4 本体メモリ内のアプリケーションをコンパクトフラッシュに移動します。

画面左上のポップトリガーにより、本体内のアプリケーションとコンパクトフラッシュ上のアプリケーションの表示を切り替えることができます。

アプリケーションを選択して、画面下部にある[移動]ボタンをタップすると、該当のアプリケーションを本体とコンパクトフラッシュの間で移動することができます。コピーはできませんので注意してください。



注意

PalmOS の機能を拡張するソフトウェアを含む一部のアプリケーションはコンパクトフラッシュへ移動できない、もしくは移動することにより正常に動作しなくなる等の影響があります。その場合は該当するアプリケーションを本体メモリ内に戻してご利用ください。

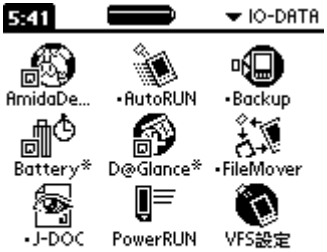
5 コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを起動します。

起動方法には 2 種類あります。

①PowerRUN の画面において起動するアプリケーションを選択し、RUN ボタンを押す。

②ホーム画面において、起動するアプリケーションのアイコン※をタップする。

※PowerRUN でコンパクトフラッシュに移動させたアプリケーション名には「*」がついて表示されます。



6 アプリケーションの起動中

コンパクトフラッシュから読み込み中であることを表す画面が表示されます。



7 アプリケーションの終了中

他のアプリケーションを立ち上げた場合やホームボタンなどでランチャー画面に戻ると終了中を示す画面が表示されます。

また、データベースの保存が必要な場合、自動的に保存が行われます。

8 コンパクトフラッシュが挿さっていない場合、もしくは違うカードが挿さっている場合コンパクトフラッシュを挿し替えるよう指示が出ます。



■コンパクトフラッシュに移動できないソフトウェア

Hack 系ソフト※を PowerRUN によってコンパクトフラッシュに移動することはできません。PowerRUN は、アプリケーションが Hack 系ソフトかどうかを判断し、Hack 系ソフトの場合は、移動できないことをユーザーに通知します。しかし、Hack 系ソフトのなかには通知されない場合がありますので、ご注意ください。
※PalmOS の機能を拡張するソフトウェア

Hack 系ソフトの見分け方

以下の条件のうちどちらかを満たすアプリケーションは Hack 系ソフトである可能性があります。

・他のアプリケーションを利用中にも使うことが可能なアプリケーション
・アプリケーション自体に有効化/無効化の設定がついている

また、コンパクトフラッシュに移動することで、アプリケーションの動作が以下のようになる場合があります。下記条件に当てはまるアプリケーションは、コンパクトフラッシュに移動しないでください。

・HotSync による DesktopPC へのバックアップが行われない。
・アプリケーション実行中以外は検索の対象とならない。
・該当するアプリケーションが持つアラーム機能が動作しない。
・該当するアプリケーションが持つコンジット（Conduit）が動作しない。
・他のアプリケーションとの連携（他のアプリケーションから起動される等）ができない。

J-DOC Reader（J-DOC リーダー）で本製品を使うとき

J-DOC Reader とは？

J-DOC Reader とは DOC ファイル※1 を閲覧するテキストリーダーです.

J-DOC Reader の特徴

- 表示速度、文章を開く速度が非常に速い
- 面倒な設定がなく、操作が簡単で容易
- 画面を回転して表示することができる
- 画面のタップ、キーに好きな機能を割り当てることができる
- ペンを持たずに文章のブラウズが可能
- CF カード上のテキストファイル（DOC 文章ではありません。ご注意を）を閲覧可能
- 本体の DOC ファイルとコンパクトフラッシュ上のテキストファイルを互いに変換可能

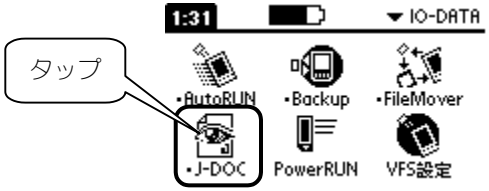
※1:注意：DOC ファイルとは Visor 上で長い文章を扱うための標準的なフォーマットです。拡張子は「.PDB」もしくは「.PRC」がついています。Microsoft Word のフォーマット（拡張子は「.DOC」）とは異なります。



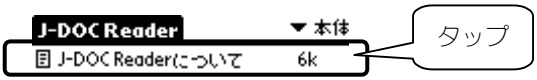
J-DOC Reader は Hacker Dude-san 山田達司氏が開発した
アプリケーションです。
J-DOC Reader の不具合情報、バージョンアップ情報は
「Hacker Dude-san's page」（http://simple-palm.com)でも
ご確認いただけます。
弊社では J-DOC Reader の動作保証は行っておりません。
お客様の責任でご使用ください。

以下に J-DOC Reader の操作方法を説明します。

1 本製品を Visor に装着すると、ホーム画面に[J-DOC]が表示されます。ホーム画面上の[J-DOC]のアイコンをタップします。



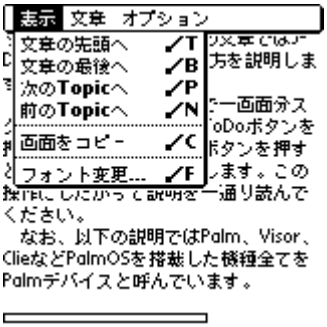
2 Visor にインストールされた DOC 文章またはコンパクトフラッシュ内の TEXT ファイルの一覧を表示することが出来ます。読みたいファイルをタップしてください。



メニュー

メニューの説明を行います。

表示



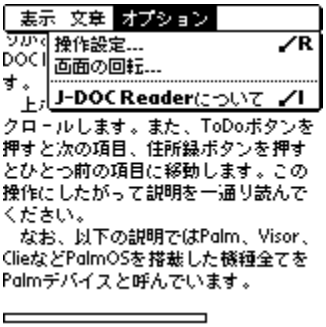
メニュー	説明
文章の先頭へ	文章の先頭を表示します。
文章の最後へ	文章の最後を表示します。
次の Topic へ	文章内の次のトピックを表示します。
前の Topic へ	文章内の前のトピックを表示します。
画面をコピー	画面内のテキストをクリップボードにコピーします。
フォント変更	フォントを変更します。

文章



メニュー	説明
文章を閉じる	現在表示されている文章を閉じて文章一覧を表示します。
前の文章へ	文章一覧内の前の文章を表示します。
次の文章へ	文章一覧内の次の文章を表示します。
文章を削除	現在表示されている文章を削除します。
文章を複製	Visor 本体内の DOC ファイルはコンパクトフラッシュへ TEXT としてコピーします。 逆にコンパクトフラッシュ内の TEXT ファイルは Visor 本体に DOC ファイルとしてコピーします。

オプション



メニュー	説明
操作設定	ハードウェアボタンに操作を割り振ることができます。
画面の回転	画面を回転させることができます。
J-DOC Reader について	J-DOC Reader の紹介

4 故障かなと思う前に

トラブルQ＆A＜目次＞

取り付け時のトラブル

VFSManager の確認画面が表示されない	35
VFSManager をアンインストールした後に、再度インストールするには？	35

Filemover 使用時のトラブル

コンパクトフラッシュが認識されない	35
Filemover でコンパクトフラッシュにファイルが移動できない	36
ファイルが 8MB フラッシュに移動できない	36
フラッシュメモリに移動したアプリケーションを立ち上げると致命的なエラーが発生する	36

AutoRUN 使用時のトラブル

コンパクトフラッシュ内のアプリケーションが選択できない	36
自動実行をしない設定にしたい	37

BackupBuddyVFS 使用時のトラブル

バックアップが正常に終了しない	37

PowerRUN 使用時のトラブル

アプリケーション実行後もアプリケーションが削除されず、本体に残ってしまう	37
コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを起動するとメモリが足りないというエラーが出る	38
コンパクトフラッシュにアプリケーションを移動したら、正常に動作しない、もしくは致命的なエラーが発生するようになった	38
スケジュールソフト等をコンパクトフラッシュに移動したら、アラームが鳴らなくなった	38
コンパクトフラッシュに移動したら検索ができなくなった	38
コンパクトフラッシュ上にあるアプリケーションが、ランチャーなどで表示されない	39
コンパクトフラッシュ上にアプリケーションを移動したら、アプリケーションの切り替え、連携ができなくなった	39
PowerRUN のアプリケーション一覧画面でアプリケーション名に(ERR)がついている	39
PowerRUN を削除しようとすると、「PowerRUN を削除できません」と表示される	39
PowerRUN をバージョンアップしようとすると、HotSync もしくはファイルの移動中にエラーが出る	40
コンパクトフラッシュ上のアプリケーションをホーム画面で削除したが、いつのまにか復活している	40
コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを赤外線で送信したが、相手側で正常に実行できない	40
コンパクトフラッシュ上のアプリケーションをバージョンアップするには？	41
アプリケーションの起動に非常に長い時間がかかる	41
アプリケーションをコンパクトフラッシュに移動しようとすると「すでに存在する」とエラーが出るが、コンパクトフラッシュには見当たらない	41
PowerRUN をバックアップできなかったのですが、再度インストールするにはどこで入手できますか？	42
PowerRUN の再インストールやアップデートを行いたいのですが、Web にあるのは非登録版ですがいいのでしょうか？	42

トラブルQ＆A

取り付け時のトラブル

VFSManager の確認画面が表示されない

原　因	本製品が正しく挿さっていない。
対　処	本製品を一度 Visor より外した後、再度コンパクトフラッシュを本製品に挿し直して、Visor に装着してください。

VFSManager をアンインストールした後に、再度インストールするには？

原　因	―
対　処	本製品を Visor に装着してください。確認画面に従いリセットを行えば再度 VFSManager がインストールされます。しかしこの際は PowerRUN はインストールされませんのでご注意ください。

FileMover 使用時のトラブル

コンパクトフラッシュが認識されない

原　因	コンパクトフラッシュは本製品が Visor に装着されたとき認識されます。
対　処	本製品を一度 Visor より外した後、再度コンパクトフラッシュを本製品に挿し直して、Visor に装着してください。

FileMover でコンパクトフラッシュにファイルが移動できない

原　因	コンパクトフラッシュが装着されていません。
対　処	コンパクトフラッシュが装着されていない場合は本製品を一度 Visor より外した後、再度コンパクトフラッシュを本製品に挿し直して、Visor に装着してください。

ファイルが 8MB フラッシュに移動できない

原　因	8MB フラッシュがいっぱいになっている可能性がありあます。
対　処	空き容量と移動したいファイルの容量を確認してください。 または目的のファイルが本体の ROM に書き込まれているファイルである可能性があります。

フラッシュメモリに移動したアプリケーションを立ち上げると致命的なエラーが発生する

原　因	フラッシュメモリーに対応していないアプリケーションです。
対　処	本体メモリにアプリケーションを移動させてください。

AutoRUN 使用時のトラブル

コンパクトフラッシュ内のアプリケーションが選択できない

原　因	AutoRUN が自動実行できるのは Visor 本体もしくは本製品のフラッシュメモリ内のアプリケーションのみです。
対　処	本体メモリーにアプリケーションを移動させてください。

自動実行をしない設定にしたい

原　因	ー
対　処	AutoRUN を立ち上げて無効にするか、アプリケーションの選択を（なし）にしてください。次回装着時からはアプリケーションが自動実行されなくなります。

BackupBuddyVFS 使用時のトラブル

バックアップが正常に終了しない

原　因	コンパクトフラッシュの空き容量が不足している可能性があります。
対　処	コンパクトフラッシュの空き容量を確認してください。

PowerRUN 使用時のトラブル

アプリケーション実行後もアプリケーションが削除されず、本体に残ってしまう

原　因	PalmOS の機能を拡張するソフトウェア（Hack 等）との相性が悪いことが考えられます。
対　処	Hack 等を外したのち PowerRUN を実行してください。

コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを起動するとメモリが足りないというエラーが出る

原　因	本体内に十分な空き容量ありません。
対　処	本体内で頻繁に使わないアプリケーションをフラッシュメモリーまたはコンパクトフラッシュに移動してください。2.5 倍程度の空き容量が本体に必要です。

コンパクトフラッシュにアプリケーションを移動したら、正常に動作しない、もしくは致命的なエラーが発生するようになった

原　因	PalmOS の機能を拡張するソフトウェアはコンパクトフラッシュに移動できません。
対　処	PowerRUN はそのようなアプリケーションを自動的に検出し、移動をしない機能を持っていますが、正しく作られていないアプリケーションでは検出できず、移動してしまうことがあります。このような場合は本体メモリに再度移動してください。

スケジュールソフト等をコンパクトフラッシュに移動したら、アラームが鳴らなくなった

原　因	コンパクトフラッシュ上に移動したソフトはアラームを鳴らすことができません。
対　処	本体メモリ上でお使いください。

コンパクトフラッシュに移動したら検索ができなくなった

原　因	コンパクトフラッシュ上に移動したアプリケーションは起動中以外は検索の対象となりません。
対　処	該当するアプリケーションを起動してから検索を行ってください。

コンパクトフラッシュ上にあるアプリケーションが、ランチャーなどで表示されない

原　因	何らかの理由でショートカットが削除されています。
対　処	PowerRUN を起動して、メニューから「ショートカットを最新の状況の更新」を実行すると再度ショートカットが作成されます。

コンパクトフラッシュ上にアプリケーションを移動したら、アプリケーションの切り替え、連携ができなくなった

原　因	複数のアプリケーションが連携して動作するものでは、 連携・アプリケーション切り替えができないことがあります。
対　処	アプリケーションを本体に移動してご利用ください。

PowerRUN のアプリケーション一覧画面でアプリケーション名に(ERR)がついている

原　因	このショートカットに対応するアプリケーションがコンパクトフラッシュ上に存在しない場合にこの表示が出ます。
対　処	このアプリケーションを削除するか、メニューから「ショートカットを最新の状況の更新」を実行するとこのショートカットが削除されます。

PowerRUN を削除しようとすると、「PowerRUN を削除できません」と表示される

原　因	PowerRUN を削除する前に PowerRUN を停止しておく必要があります。
対　処	PowerRUN を起動し、メニューから「PowerRUN を停止する」を実行してください。

PowerRUN をバージョンアップしようとすると、HotSync もしくはファイルの移動中にエラーが出る

原　因	PowerRUN をバージョンアップする前に PowerRUN を停止しておく必要があります。
対　処	PowerRUN を起動し、メニューから「PowerRUN を停止する」を実行してください。

コンパクトフラッシュ上のアプリケーションをホーム画面で削除したが、いつのまにか復活している

原　因	ホーム画面で削除してもアプリケーションへのショートカットが削除されるだけでコンパクトフラッシュ上のアプリケーションは削除されません。
対　処	コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを削除する場合は PowerRUN を起動して、[削除]ボタンによって行ってください。

コンパクトフラッシュ上のアプリケーションを赤外線で送信したが、相手側で正常に実行できない

原　因	ホーム画面で赤外線送信してもアプリケーションへのショートカットのみが送信されてしまいます。
対　処	PowerRUN によりいったん本体に移動した後で赤外線送信してください。

コンパクトフラッシュ上のアプリケーションをバージョンアップするには？

原　因	―
対　処	コンパクトフラッシュ上のアプリケーションをアップデート、バージョンアップする場合は以下の手順に従ってください。これ以外の方法でバージョンアップを行った場合、正常に行われない場合があります。 手順 1：アプリケーションを PowerRUN により本体に戻す。 手順 2：アプリケーションの説明に従ってバージョンアップを行う。 手順 3：アプリケーションを PowerRUN によりコンパクトフラッシュに移動する

アプリケーションの起動に非常に長い時間がかかる

原　因	―
対　処	PowerRUN は起動時にアプリケーションに関する全てのファイルを本体内にコピーします。そのため辞書ソフト、地図ソフト、データベースソフト等大きなサイズのファイルを利用するアプリケーションでは起動に長い時間がかかります。

アプリケーションをコンパクトフラッシュに移動しようとすると「すでに存在する」とエラーが出るが、コンパクトフラッシュには見当たらない

原　因	PowerRUN 動作中にリセットがかかるなど、ショートカットとコンパクトフラッシュの状態がずれてしまった可能性があります。
対　処	PowerRUN のメニューから「ショートカットを最新の状況にする」を実行してください。これでコンパクトフラッシュ側にアプリケーションが現われます。

PowerRUN をバックアップできなかったのですが、再度インストールするにはどこで入手できますか？

原　因	ー
対　処	万がーバックアップ出来なかったときは http://simple-palm.com/ から最新版を入手して Hotsync にてインストールしてください。

PowerRUN の再インストールやアップデートを行いたいのですが Web にあるのは非登録版ですがいいのでしょうか？

原　因	ー
対　処	PowerRUN の登録情報は本製品のフラッシュに保存されています。再インストールや Update は本製品を装着した状態でインストールすれば登録版になります。

5 付録

ハードウェア仕様

型式番号	VRCF-8A
フラッシュメモリ容量	8MB
電源電圧	3.3V
消費電流	100mA
動作温度／湿度	0～40℃/5～90％（結露しないこと）
適応規格	VCCI
外形寸法	54 X 56.8 X 16.65 (mm)
質量	25g

用語解説

VFS（ブイエフエス）（*Vertual File System*）

外部メモリ（コンパクトフラッシュなど）をPalm OSで使用するための仕組みです。Palm OS 4.0 から標準採用されました。
本製品では、Palm OS 4.0 互換のVFS Manager（VFS機能を提供するソフトウェア）を搭載することにより、コンパクトフラッシュを使用可能にしています。

コンジット（*Conduit*）

VisorをHotsync（ホットシンク）により、PCとデータ同期をさせるためのソフトウェアです。
標準のPalmDesktopには予定、アドレス、TO DO、メモ帳、メールのコンジットが装備されています。
その他のアプリケーションでもコンジットを持ち、PC とデータを同期できるものもあります。

フラッシュメモリ

電気的に全内容を消去できる EEPROM で、フラッシュ PROM ともいいます。電気的に内容を変更でき、一括消去もできます。
電源を切っても情報が消えず、しかも書き込みや消去が数万回できます。

アフターサービス

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名
3. 現在の状態（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。）

■オンライン

インターネット　**http://www.iodata.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、
E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「VRCF-8A」係　宛

■電話

電話番号　**金沢**　**076-260-3661**
東京　**03-3254-1085**
受付時間　**9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**

■FAX

FAX 番号　**金沢**　**076-260-3360**
東京　**03-3254-9055**
宛先　**株式会社アイ・オー・データ機器**
サポートセンター「VRCF-8A」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、
  　落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「VRCF-8A」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･ 梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「VRCF-8A」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

VRCF-8Aシリーズ 取扱説明書
2001.Nov.19 98028-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。